

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

販売店に連絡してください。

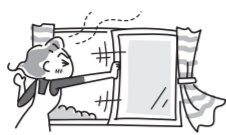


おねがい

たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。

ガスもれが無いのに警報音が鳴り、ランプが赤色に点灯したときは

ドアと窓を開けて空気の通りを良くし、しばらく換気を行ってください。



おねがい

警報音を停止するために警報器の電源プラグや、警報器と検知部の接続線を抜かないでください。

以下の原因が考えられますので調べてください。

- スプレー式の殺虫剤やヘアスプレーなどを、検知部の近くで使っていませんか。
- 芳香剤などの濃いガスが検知部にかかっていませんか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 長時間、部屋を閉め切っていませんか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、検知部に大量にかかっていませんか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 警報器の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用していませんか。

4. その他の機能

交換期限お知らせ機能

警報器の交換期限を過ぎるとランプがゆっくり緑色に点滅^{※5}します。
 ※5： ゆっくり緑色に点滅
 ランプが消灯から点灯、点灯から消灯へ連続的に変化します。
 ※ 交換期限お知らせ機能は解除することもできます。
 設定を変更されたい場合は、販売店に連絡してください。

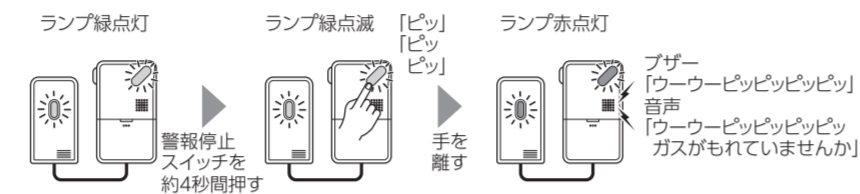


交換期限を過ぎた警報器は、規定の警報ガス濃度で警報を発しないなど誤動作のおそれがありますので、販売店に連絡してください。交換期限は、警報器本体に表示してあります。



警報音確認機能

警報停止スイッチを約4秒間押すと、警報音を確認することができます。
 ※ マイコンメータや外部機器への信号は出力されません。



※6秒以上押さないでください。警報音の設定が変更されます。

鳴動原因表示機能

過去10日間に警報器が動作したかどうかを確認することができます。
 警報停止スイッチを約1秒間押すと、過去10日以内で最後に行った警報器の動作を下表のランプ表示でお知らせします。
 ※ 電源を投入してから約25分以内に起こった警報器の動作の履歴は表示しません。
 ※ 検知部はランプ表示を行いません。

過去の警報器の動作	警報部のランプの状態
警報なし	—
ガス警報	1秒間赤点灯
故障警報	1秒間に2回赤点滅
マイコンメータのしゃ断予告信号を表示 ^{※6}	1秒間に1回緑点滅
マイコンメータのしゃ断信号を表示 ^{※6}	1秒間に2回緑点滅
マイコンメータの復帰安全確認中信号を表示 ^{※6}	1秒間に3回緑点滅
マイコンメータのガス使用許可信号を表示 ^{※6}	1秒間緑点灯
警報部と検知部との誤配線表示	1秒間に4回赤点滅
マイコンメータとの誤配線表示 ^{※6}	1秒間に1回緑・赤交互点滅

※6： S型メータ接続時のみ

8. 故障かな?と思ったら

警報器に異常がある場合は、次の点検および処置をしてください。
 処置をしても異常があるときは、販売店にご連絡ください。

こんなときは		ここを確認して	こう処置してください
ランプの状態	警報音が鳴っている状態		
ランプが赤色に点灯または赤色に点滅	警報音が鳴る	ガスがもれていない場合は、他の原因を調べてください。(P.9を参照)	処置をしても警報音が鳴りやまない場合は、警報器の故障が考えられます。販売店に連絡してください。
赤点灯または赤点滅			
—	たびたび警報音が鳴る	ガス機器の異常が考えられます。	販売店に連絡して、ガス機器の点検を受けてください。
—		ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。	販売店に連絡して、それらの機器も点検を受けてください。
ランプが緑色に点滅	約1分間隔で「ピッピッピ」または「ピッピッピ」警報部故障です、「ピッピッピ」検知部故障です	—	警報部または検知部が故障しています。販売店に連絡してください。警報停止スイッチを押すと、以降36時間、警報音は停止します。ご注意ください：故障状態ではガスを検知できず、警報しない場合があります。
緑点滅			
ランプが緑・赤色に交互点滅	「ピッピッピ」または「ピッピッピ」検知部との配線を確認してください	—	警報部と検知部との接続が切れています。販売店に連絡してください。警報停止スイッチを押すと、以降36時間、警報音は停止します。
緑・赤交互点滅			
—	「ピッピッピ」または「ピッピッピ」メータとの配線を確認してください ^{※7}	—	マイコンメータとの接続が切れています。販売店に連絡してください。警報停止スイッチを押すと、以降36時間、警報音は停止します。
—	「ピッ」または「ピッ」ガスを長く使っていませんか	ガス栓の閉め忘れがないか確認してください。	ガス器具をお使いの場合は、使用を中断してください ^{※8} 。

※7： マイコンメータとの接続が切れてから約24時間後に表示します。

※8： そのままガスを使い続けると、マイコンメータがガスをしゃ断します（マイコンメータがガスの使いすぎや長時間のガスの使用、器具のガスもれを検知し、ガスをしゃ断する機能によるものです）。

5. ご使用方法

使用するとき

警告

電源電圧AC100V以外で使用しないでください。
 過電圧を加えると過熱し、火災の原因になるおそれがあります。

注意

警報器の電源プラグや、予備コンセントに接続するほかの電気製品の電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。
 感電・ショート・発煙・発火や、電源プラグ部分の過熱による焼損のおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、予備コンセントを触ったりしないでください。
 感電するおそれがあります。

警報器や電源プラグ（予備コンセントを含む）を水につけたり、水をかけたりしないでください。
 感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

警報器をお手入れするとき以外は、電源プラグを抜かないでください。
 ガスもれが発生しても警報を発しません。

警報器に耳を近づけて、警報音を聞かないでください。
 聴力障害などの原因になるおそれがあります。

警報器の電源プラグに大きな力をかけないでください。
 電源プラグやコンセントが破損するおそれがあります。

取付位置を移動させないでください。
 警報の遅れの原因となります。
 取付位置を変える必要が生じたときは、販売店に連絡してください。

警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。
 ラジオなどにノイズ（雑音）が入ることがあります。
 警報器から距離を離してお使いください。

警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。
 警報の遅れの原因となります。

- 電源プラグをコンセントに差し込む。
 ランプが緑色に約2秒間点灯後、点滅します。
 約5秒間は、ガスを検知しても警報音は鳴りません（停電復帰後も同じです）。
- 約3秒後ランプが緑色に点灯し、監視状態に入る。



6. 点検方法

日常点検

- 日常点検は、ランプが緑色に点灯していることを確認してください。
 ランプが点灯していないと、ガスもれが発生しても警報を発しません。
- 検知部のみランプが消灯している場合は、警報部と検知部が接続されていないことがあります。警報部と検知部が接続されているか確認してください。
 ご不明の場合は、販売店に連絡してください。

作動点検

警報器が正常に作動していることを確認するために、付属の点検ガスによる点検を行ってください。
 点検される際は、施工説明書の「ガス警報機能の点検」を確認してください。

おねがい

- 点検ガスは、お子様の手の届かない場所で保管してください。
- 点検ガスを注入しても警報音が鳴らないときは、「9.アフターサービス」をお読みください。
- 点検ガスをかけ続けしないでください。警報音が鳴りやまなくなることがあります。
- 点検ガスが無くなりましたら、販売店でお買い求めください。

7. お手入れのしかた

注意

- 警報器をお手入れするときは、必ず警報器の電源プラグを抜いてください。
 感電やけがの原因となります。接続されているマイコンメータ・外部機器が集中監視を行っている場合、集中監視元まで警報がながりますのでご注意ください。
- 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを取り除いてください。
 火災の原因となります。

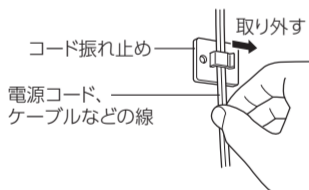
おねがい

- お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。
- アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどを使うと、警報器本体の表面を傷めることがありますので使用しないでください。
- 中性洗剤などを使ったときは、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらく赤ランプが点灯したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

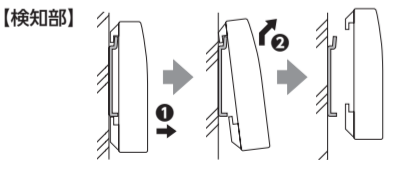
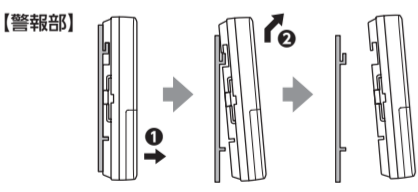
お手入れの際の警報器の取り付け・取り外し

〈取り外しかた〉

- 電源コード、ケーブルなどの線をコード振れ止めから取り外す。



- 取付金具から警報器を取り外す。

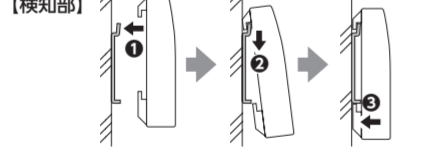
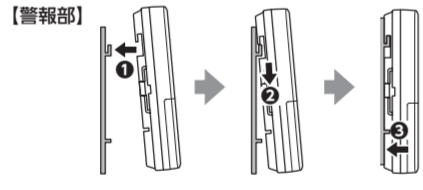


お手入れ

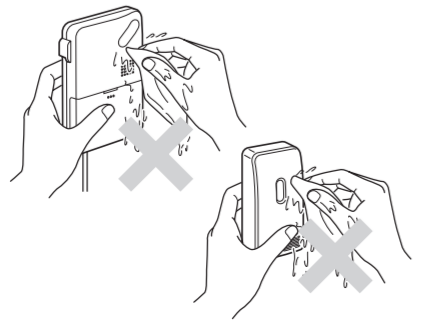
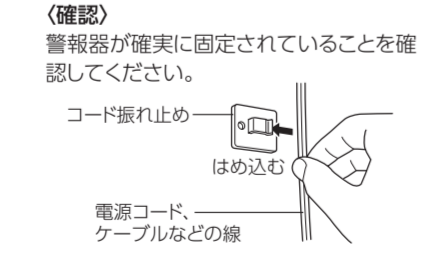
- 警報器の電源プラグを抜いて警報器を取り外す。
 集中監視盤などに接続されている場合、集中監視盤が作動しますので、ご注意ください。
- 水または石けん水で湿した布をよく絞ってふき取る。
- 警報器がぬれていないことを確認し、警報器を取り付けた後、電源プラグをもとどおりコンセントに差し込む。

〈取り付けかた〉

- 取付金具に警報器を取り付ける。



- 電源コード、ケーブルなどの線をコード振れ止めにはめ込む。



9. アフターサービス

- 警報器に異常がある場合は、修理を依頼される前に「8. 故障かな?と思ったら」の項目、処置をご確認ください。処置をしても異常がある場合は販売店に連絡してください。
- 添付の保証書に基づき、保証期間は警報器本体に表示された交換期限の期限内となります。万一異常が生じた場合は、速やかに買い求めの販売店に連絡し保証書をご提示ください。保証書の記載内容に基づき、販売店が点検または交換いたします。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店に連絡してください。
- 引越しをされるときは、販売店に連絡してください。
- 警報器を交換する場合は、警報部と検知部の両方を交換してください。警報部および検知部の単独販売はできません。

10.仕様

XH-610G	
種別	液化石油ガス用ガス漏れ警報器
対象ガス	LPガス
警報ガス濃度	爆発下限 ^{※9} の1/100 以上、1/4 以下
警報方式	ランプ赤点灯 音声合成音（ブザー・日本語・中国語で選択可能、自動復帰式）
応答時間	30 秒以内
警報音量	70dB(A)/m 以上
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	監視時約1.0W、警報時約1.6W
外部出力信号	2段階有電圧2線式(監視時DC6V、電源OFF時・故障診断時0V、ガス警報時DC12V) 監視時OFF・警報時ON / OFFまたは警報時ON、出力信号遅延時間約30秒
使用温度範囲	【警報部】-10 ~ 40℃（結露なきこと） 【検知部】-10 ~ 45℃
寸法	【警報部】幅70×高さ120×奥行25mm（突起部除く） 【検知部】幅43×高さ79×奥行23mm（突起部除く）
質量	【警報部】約215g（電源コードを含む） 【検知部】約55g
電源コード	長さ2.5m、予備コンセント付き

※9：爆発下限界
 爆発は、空気に対するガスの割合がある範囲になったときに起こる可能性があります。その範囲を爆発限界と呼び、最高濃度を爆発上限界、最低濃度を爆発下限界といえます。

総発売元 岩谷産業株式会社
 製造元 新コスモス電機株式会社
 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4 TEL 06(6308)3155